

平成25年度オープンデータ実証実験 ②社会資本実証

- 自治体等が保有する社会資本情報等(道路、橋梁、トンネル等に関する管理情報、工事实績情報、苦情・問い合わせ情報、入札情報等)が活用しやすい形式で管理・公開されれば、各分野のデータ同士の組み合わせが可能となり、社会資本に関する新たなサービスや情報の価値の創出が期待される。これにより、社会資本整備の効率化や、住民の安心安全の向上等に資することが期待される。
- このため、自治体等が保有する社会資本情報等の流通・連携により、様々なアプリケーション(公共事業に関するマーケティング情報提供サービス、社会資本の図面(諸元)情報提供サービス等)の提供が可能になることを実証する。

